

東日本大震災滋賀県内避難者の会  
(通称:滋賀県内避難者の会)の取組について



---

滋賀県労働者福祉協議会 暮らしサポートセンターしが  
井出 のり子

# 滋賀県における避難受入状況

## 県別受入状況 2/2

\*146世帯 371人(2012年6月21日現在)

\*ピーク時 165世帯 423人(8月25日時点)

平成24年1月以降、月に約1~2世帯減りつつあるも、ほぼ横ばい

避難元	人数	施設別受入状況	世帯数	人数
岩手県	6人	県営住宅	6世帯	16人
宮城県	65人	市町営住宅	26世帯	69人
福島県	235人	その他	113世帯	284人
その他	65人	合計	145世帯 (▲一時避難1世帯)	369人 (▲3名)
合計	371人			

### 子どもの避難状況

幼児・小中学生:62人

高校生:11人

## 2月滋賀県実施のアンケートより

アンケート送付数:147世帯  
回答数:69世帯  
回答率:46.9%

滋賀県への避難時期	世帯数
平成23年3月	31世帯
平成23年4月	9世帯
平成23年5月	8世帯
平成23年6月~8月	14世帯
平成23年9月~11月	5世帯
平成23年12月~2月	2世帯

### Q 提供してほしい情報は？

- 1、国等の生活支援に関する情報
- 2、原発の賠償等に関する情報
- 3、生活している市町の生活情報

### Q 招待イベント等への参加は？

- 1、余り参加していない(1~2回)
- 2、参加したことがない
- 3、3~4回参加したことがある

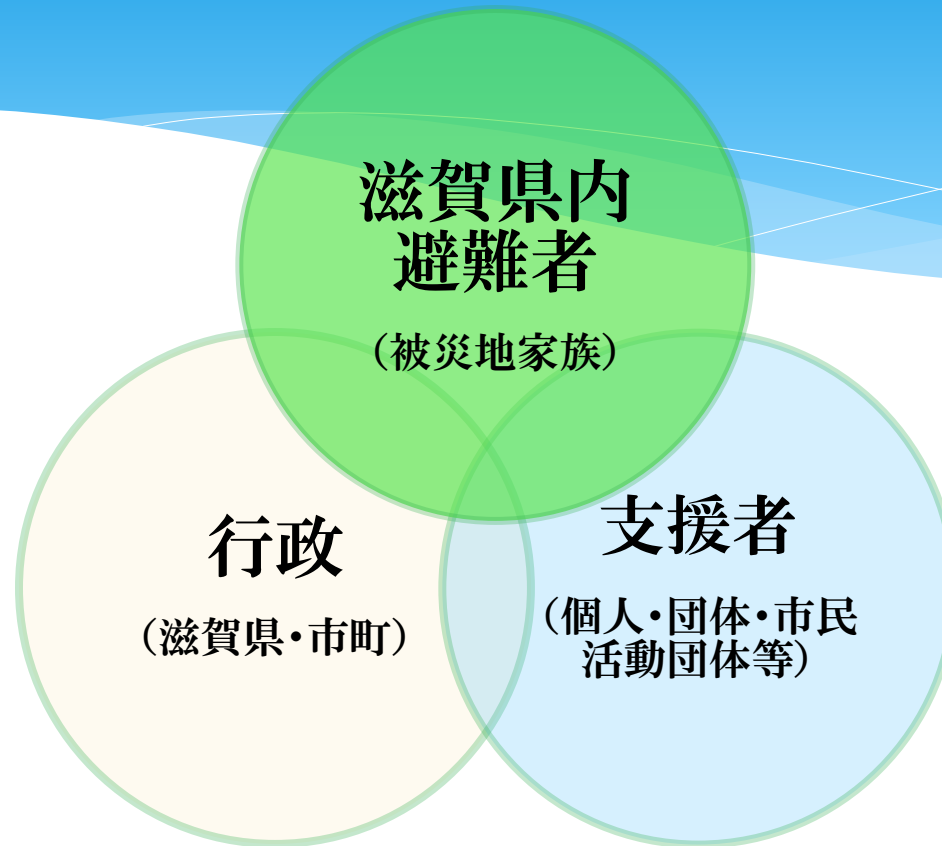
### Q 現在心配している事は？

- 1、仕事・収入
- 2、住まい
- 3、家族の健康

ご家族の状況 別居家族がいる世帯数:33世帯 47.8%

半数の世帯が二重生活で、別居家族の7割が被災地にいる生計維持者である。

# 東日本大震災滋賀県内避難者の会



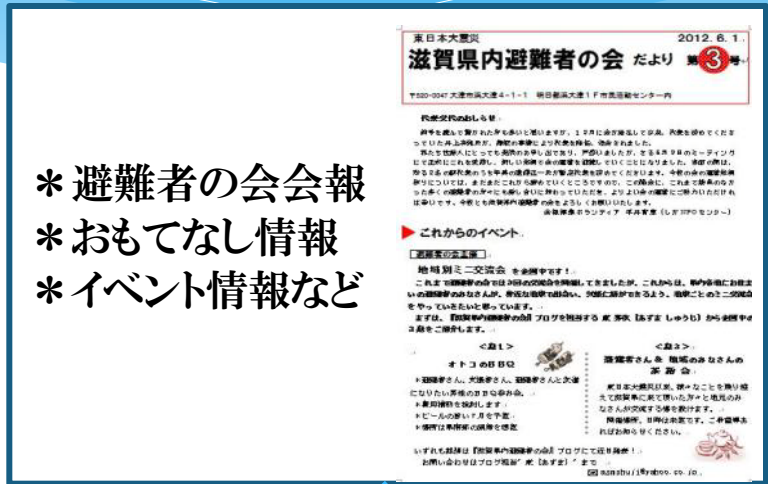
- \* 運営会議の開催
- \* スモールオフィスの開所
- \* メールングリストによる情報の共有化
- \* 助成や寄附を受ける

- | ◇ ブログの管理・運営
- | ◇ 共同企画のイベント等
- | ◇ 個別相談
- | ◇ 子どもの健康診断

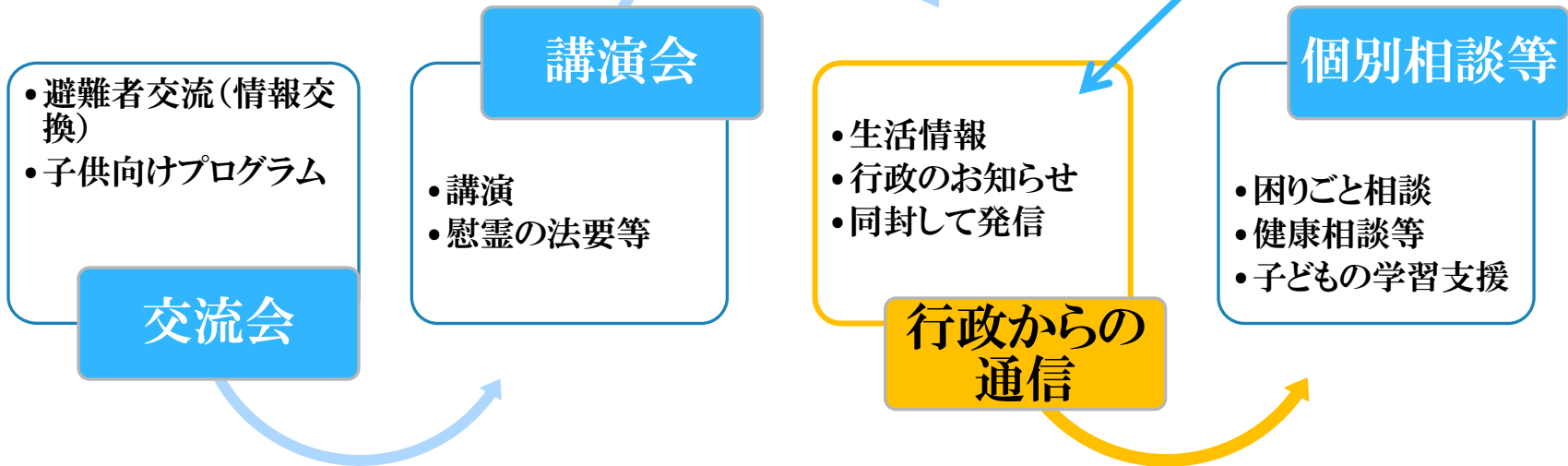
# これまでの滋賀県内避難者の会の活動

- \* 交流会:3回
  - \* 講演会:2回
  - \* 個別相談:1回
  - \* 会報の発行:4回
  - \* 情報送付:毎月
- ブログ:

<http://shigahinansya.shiga-saku.net/>



- \* 避難者の会会報
- \* おもてなし情報
- \* イベント情報など



交流会



法要と交流会

講演会



講演会

つるりん和尚に聞く  
「福島の実状と今後」

滋賀県内  
避難者

行政  
県  
市町

会報等情報提供



交流会

子どもの日を祝う

助成金  
寄附等

東日本大震  
災滋賀県内  
避難者の会

支援者  
(個人・団体)

個別相談

子どもの健康診断  
通院相談等



講演会

福島の子どもの支援を考える

福島の子ども保養プロジェクトinしが

7月31日～8月2日(滋賀県)  
～8/3(奈良県)～8/4(大阪府)



## 現在進行中(普通の生活に戻るお手伝い) 労福協・事業団体・労働組合や関係団体連携の取組

- ◆ サポートV(東日本大震災 復興支援定期)  
(定期預金のお預けが、<ろうきん>から長期の支援・寄付につながるしくみ)
- ◆ あしなが育英会・ゆめ風基金を支援  
2012年度は各1,180万円を、10年間で総額1億6,800万円(見込み)を寄付
- ◆ 近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度
- ◆ NPO・中間支援組織との事業連携
- ◆ ボランティア情報共有(被災地ボランティアバスの運行等)
- ◆ 福島の子ども保養プロジェクトinかんさい(支援団体協力)





これから

## 避難されている方々の課題へのアプローチ

生活の再構築（住宅・仕事・健康・地域コミュニティへの参加）

被災地への思い、心の整理・覚悟に

## どう寄り添うか？

ご縁をつなぐワンコイン会等

トーク・得・トーク、話そうよ！

被災地のクリーンボランティア

子ども支援 「子ども保養プロジェクト・学習支援・

遊び場プロジェクト・健康相談等」

